

日本福祉大学
スポーツ科学センター年報
平成 30 年度版



目 次

1. はじめに	—センター長挨拶—	p.1
2. スポーツ科学センターの活動		p.2
3. スポーツ強化支援政策		p.3
1)	リーダーズキャンプ	p.3
2)	主務・マネージャー研修会	p.6
3)	SMT 講習会	p.10
4)	体組成測定	p.12
5)	各部の活動報告	p.14
4. スポーツ大会（バスケットボール大会）		p.36
5. みはまスポーツクラブの活動支援		p.41
6. 水泳教室		p.43

1. はじめに ーセンター長挨拶ー

スポーツ科学センターの今年度の成果とこれから

3名のセンター教員、センター長という4名体制のセンター組織が整い、2年目の活動が終わりました。

日常的な主務会議を定着させ、学内のスポーツ強化・振興に取り組み、そして、みはまスポーツクラブをはじめとする地域のスポーツ振興にも取り組み、センターの活動の方向性や企画・運営の仕方も見えてきました。詳しい取り組みの様子は、各報告をご覧ください、ここでは、その活動を概括し、これからのセンターの取り組みにつなげたいと思います。

まず、スポーツ強化サポートについて、主務会議を定例化し、学生たち主導で企画・運営する取り組みを始めました。その代表が壮行会の企画・運営です。それまで大学側に要請されて、学生たちにはある意味やらされ感を伴った企画でしたが、主務のメンバーが中心となった企画・進行によって展開されるようになりました。今後、実態を伴った体育会の組織化を図るためにも、大きな布石となるものと思われます。また、強化指定部・サークルの主将を対象とする研修会、主務・マネージャーの研修会を定着させることができました。これは、時期、内容とも各部の実態に即したものにしていこうと検討を重ね、センター教員主導ではありますが、充実したものになってきました。特に、参加した学生たちの意見交換が活発になり、今年度は各部が抱える課題や問題をぶつけ合う様子が特徴的でした。強化指定の枠を超えた学生たちが活発に交流する姿からは、来年度の各部の成果に期待できそうです。さらに、今年度から「スポーツメンタルトレーニング」(SMT)講習会を始めました。これはスポーツ科学部の荒木雅信先生、山本真史先生のご好意によって行われ、スポーツ研究の成果を部の活動に活かす新しい試みとして参加学生にも好評で、来年度も継続して行います。今後、スポーツ科学部の先生方のご協力を得て、研究の成果を還元していただくことで、学内のスポーツを盛り上げていければと思います。

次に、学内の一般学生向けに「バスケットボール大会」を行いました。これは、バスケットボール部の協力を得て行われた学部を超えたスポーツ交流の初めての試みでした。決して多くの参加者ではありませんでしたが、参加者からは満足した声をもらい、今後、センターとして学内のスポーツ振興に向けた取り組みをしていく必要と役割を再確認させてもらいました。

一方、みはまスポーツクラブはじめ、美浜町民の方々へのスポーツ振興の取り組みとしては、まず、いろいろな議論を経てみはまスポーツクラブが今年4月に社団法人化するまでを支援し、美浜町民の主体性を持ったクラブ運営を構築することに一定の役割を果たすことができたと思います。また、美浜町のスポーツ振興計画の策定にも協力し、さらに、昨年の高齢者水泳教室を今年度は小学生の水泳教室の実施へと対象を拡大して取り組むなど、大学と美浜町の協力関係をスポーツをもとにつなぐ役割も果たすことができたと思います。

今後、大学全体ではスポーツの強化・振興に向けたUNIVASの取り組みが始まります。スポーツ科学センターもその組織化に伴い期待と役割が膨らむことが予想されます。来年度以降も、経験を蓄積し、日本福祉大学のスポーツの発展はもとより、美浜町を中心とする地域のスポーツの発展に寄与するように活動していきたいと思います。

(センター長 吉田 文久)

2. スポーツ科学センターの活動

【2018年度の主な活動】

- 1) みはまスポーツクラブ事業の展開（4月～3月）
- 2) バスケットボール大会開催（6月）
- 3) 特別強化指定部リーダーズキャンプ（7月）開催
- 4) 「みはま中学生サッカー教室」の開催支援（6月～7月）
- 5) スポーツメンタルトレーニング講習会開催（11～12月）
- 6) 特別強化指定部主務・マネージャー研修会開催（2月）
- 7) 日本福祉大学杯少年サッカー大会開催支援（2月下旬）
- 8) 小学生水泳教室開催（3月）

3. スポーツ強化支援政策

1) リーダーズキャンプ

- 主 旨 ① リーダーとして必要な知識・教養を身につけること
 ② 他の部活のリーダーと話をすることによって情報や悩み等を共有し、今後、コミュニケーションが
 取れる関係を築くこと
- 日 時 2018 年 7 月 28 日（土）9：30 集合
- 対 象 日本福祉大学 強化指定部 A および B における主将またはそれに代わる学生

参加者一覧

グループ		部活名	役職	氏名	学部
A	1	I 部サッカー部	主将	四十田 蒼	社会福祉学部
	2	ラグビー部	主将	清水 大聖	社会福祉学部
	3	硬式野球部	主将	宮入 大輔	社会福祉学部
	4	女子ソフトボール部		村上 純菜	社会福祉学部
	5	男子ソフトボール部	主務	佐々本 開斗	子ども発達学部
B	1	女子バスケットボール部	主将	新井 菜月	看護学部
	2	アーチェリー部	主将	小林 典広	社会福祉学部
	3	アメリカンフットボール部	副主将	由留出 圭太	子ども発達学部
	4	I 部硬式テニス部	主将	前川 優馬	社会福祉学部
	5	I 部卓球部	主将	澤田 武直	社会福祉学部
C	1	男子バスケットボール部	学生コーチ	浅岡 亮大	スポーツ科学部
	2	I 部バドミントン部		小柳 良輔	健康科学部
	3	準硬式野球部	主将	山本 修平	経済学部
	4	女子ラクロス部	主将	中川 樹利亜	子ども発達学部
	5	男子ラクロス部	副主将	大和 想平	看護学部
D	1	水泳部	主将	中島 拓哉	社会福祉学部
	2	陸上競技部	主将	井内 月野	スポーツ科学部
	3	NFU ゴルフ部	主将	芦田 諒太	スポーツ科学部
	4	合奏研究吹奏楽団	施設予約	早川 真生	子ども発達学部
	5	弓道部	副主将	犬塚 彩乃	社会福祉学部

内 容	9:30～	開会式および主旨、日程確認
	10:00～12:00	チームリーダーとして 講師:トヨタ車体(バレーボール)竹平沙希 講師:北陸電力(ハンドボール)銘苅 淳
	12:00～13:30	昼食
		台風による暴風警報発令で午後は中止

【講演を聞いて：参加した学生の感想（一部抜粋）】

- 竹平さん、銘苅さんの話は何を伝えたいか明確に分かったし、自分の為になるような話ばかりでした。全ては自分の行動で未来は変わり、試行・言動・行動を一致する事で、自分の動き方が変わると思った。目標は具体的に書くことで達成に繋がると思った。また、環境を変える事、人との付き合いを変える事も大切だと学んだ。(女子ソフトボール)
- 共感や納得できる内容が多く、素直に聞くことができた。スポーツに関しての講演を一般で聞こうと思うと、どうしても目立つエースやレジェンドのように凄い技術を持った方ばかりが注目されるが、このように影で悩み苦労されてきた方たちの考えを教わるということは、一人じゃない、わかってくれる人がいると気づいて気が楽になり、さらに今後、頑張ろうと思えるきっかけとなった。(男子ラクロス部)
- キャプテンやリーダーとしての大切なことだけでなく、人生、人として大切なことも学ぶことができました。一番印象に残ったのは、自分のことを好きでない自分は、誰も好きにはならないという言葉です。自己肯定感を高めなければ、他人を動かすことはできない事に気づかされました。(男子ソフトボール)

総 括

昨年度に続き、今年度も特別強化指定部の支援政策として「リーダーズキャンプ」を実施した。講師に竹平沙希氏（トヨタ車体・バレーボール）、銘苅淳氏（北陸電力・ハンドボール）をお招きした。竹平沙希氏からは、自分の経験を踏まえながら、チームリーダーとして大切なことを1つずつ会話形式で進められた。初めはなかなか自分の意見をまとめられない学生も見受けられたが、人に話すことで少しずつ意見がまとまっていく様子が見られた。銘苅氏からは、リーダーとしてというよりは、スポーツに携わる一人の人間として大切なことやチームでプレーをしていく中で大切なこととお話ししていただいた。夢を持っているか？夢がないのであれば、まずはどんな自分にはなりたくないのか。自分のことを好きですか？自己肯定ができないと他人から好かれることは難しい。そこからチームとして一体感に繋がっていく。などについて経験を踏まえながらお話ししていただいた。2名の講師に講演していただき、一チームの一人の人間としての立場、リーダーとしての立場からのお話を聞くことができた。本学学生にとっては、とても良い機会になったのではないかと思います。午後に予定されていたモチベーション DVD 作成は台風のため、中止された。今後、活用できるよう資料を作成し、配布したい。

(文責：坂口結子)



写真：リーダーズキャンプの様子

2) 主務・マネージャー研修会

主 旨	主務・マネージャーの役割について理解を得ると共に、他の強化指定部との交流・情報共有を行うことで各部活動の発展につなげる。
日 時	2019 年 2 月 19 日 (火)
対 象	日本福祉大学強化指定部 A および B における主務またはマネージャー
内 容	

時間	内容
9:30	開講式、センター長挨拶、内容説明
9:45-11:00	アイスブレーキング、ワールドカフェ
11:00-11:10	休憩
11:10-12:10	講演:ピリオダイゼーションについて 本学トレーナー 伊藤雅介氏
12:10-13:00	昼食
13:00-14:00	実践報告(水泳部、硬式野球部、アーチェリー部、アメリカンフットボール部)
14:00-	閉講式、センター長総括、集合写真

【アイスブレーキング・ワールドカフェ】

《内容》

アイスブレーキングでは 2 人組になり、相手の取材を行った。その後、グループごとに他己紹介を行った。また、紹介終了後、必ず 1 つは質問を投げかけるよう促した。

ワールドカフェでは

- 選手のモチベーションについて
- ミーティングの手法について
- 部の組織について
- 主務・マネージャーの役割・仕事内容について
- 部の規則について

以上 5 つの項目に分かれ、ディスカッションを行った。

《感想》一部抜粋

- 他の部活の悩みや取り組みを聞くと、他の部活でも同じように困ったことを抱えていることが分かった。話し合うことや改善策も見つかったし、部全体のことを考えるきっかけになった。
- 様々な部活のマネージャーや主務の方と交流することができ、お互いを知ることができました。そのため、今後の仕事もやり易くなると思いました。
- 選手のモチベーションについて話をし、部員みんなの気持ちが異なり、目指している所は同じでも向いている方向が違う場合、どのように対処するか様々な部活のやり方や意見を聞けて参考になった。
- 主務・マネージャーの役割について話し合ったが、やはり主務の仕事は大変であり、書類の作成、部への連絡など共有することが大切だと感じた。一人で抱え込むのではなく、周りに頼ることが大切だと学んだ。
- 部の組織について話し合った。ミーティングをして、それぞれの意見を聞くことが大切だと思いました。また、引継ぎではマニュアル化を取り入れていこうと思いました。

【ピリオダイゼーションについて】

《内容》

試合に向けたコンディショニング調整を行うためのピリオダイゼーションについて講習会が行われた。競技力を向上する上での、体力要素、強度と量の調整、期分けなど、時系列的に考えることの必要性についてレクチャされた。

《感想》

- リーグ戦や大切な大会が近い時にどのような部活内容にすればいいのかが分かった。目標を達成するためには、計画を立てて、実行することが大切であり、食事、睡眠、休息が必要と学ぶことができた。
- これまでは先輩から教えられたものをそのままやっているのみだったので、今回しっかり、どういうものかを聞いたので、新一年生にどういう意味か聞かれた時にしっかり答えられると思った。
- この講習会を通して、マネージャーもこういうことを一緒に考えて把握していけば、もっとプレーヤーに寄り添えるのではないだろうかと思った。
- 競技ごとに必要な能力が違い、そこまで深く考えたことが無かったので、とても勉強になりました。今、自分たちが、選手たちが何を行わなければならないのか。どこを強化していき、春季リーグ戦前のこの時期にどう過ごすのか。など、すぐにでも実践したいことがいくつかありました。また、一人暮らしではなかなか難しい食事や疲労回復について、もっと考えていこうと思いました。

【実践報告】

《内容》

水泳部、硬式野球部、アーチェリー部、アメリカンフットボール部より、自分たちが主務・マネージャーとして実践していることについて話をしてもらった。

《感想》

- 主務・マネージャーのしていることなどの話を聞いて、これから私がやること、やれることがまだまだあることが分かった。もっと自分の役割に対して、自覚をもって取り組んでいきたい。
- 発表する側は、普段意識していないように感じていても、実際にまとめてみると、こんなこともやっていたんだと自分を見つめ直す部分でも良い機会となった。
- 所属の部活はマネージャーがいないため、人目につかないような努力をプレーヤーがする必要がある。s のため、「チームのために」という気持ちをもって仕事をしていきたいと感じた。
- 他の部活はもっと選手に寄り添って、考えながら支援していることを知った。
- 聞いて満足するだけではなく、主務にしかできない事は何か、今年一年考えながら活動していき、実践につなげていこうと思う。
- 主務・マネージャーのありがたみを知ることができた。監督・選手だけでは組織が成り立たず、裏で支えてくれている、主務・マネージャーが必要不可欠だと分かった。

総 括

今年度後期には特別強化指定部への支援として「主務・マネージャー研修会」を行った。ワールドカフェでは主務・マネージャーという立場での悩みや苦労を題材にしてディスカッションを行った。学生からは、他の部活も同じような悩みがあることが分かった、色々な取り組みをしていて参考になったなどの感想が上がった。ディスカッションを行う前に、アイスブレイキングを行ったこともあるが、昨年度に比べ積極的に意見交換が出来ているように感じた。午前の第2部として伊藤氏よりピリオダイゼーションについて講演していただいた。監督から与えられたメニューをこなすのみ、または自分達で行っていても、なんとなく練習をしているチームが多かったのか、今後は参考にして練習計画を立てていきたいなどの意見が上がった。午後は4つの部活より実践報告をしてもらった。各部、色々な取り組み、選手とのコミュニケーション、工夫などが紹介され、他の学生も参考になったようであった。また、日ごろは選手として活躍し、主務の仕事を担当している学生などは、陰でこのような努力をしてくれていることを知ったなどの感想があった。全体的に学生が積極的に参加してくれたおかげで、より良い研修会になったのではないだろうか。昨年同様、スポーツ科学センターに今後行って欲しい取り組みとして、他の部との交流と言う意見が多かった。

(文責 坂口結子)





写真:主務・マネージャー研修会の様子

3) SMT 講習会

【目的】

本学において有意義なスポーツ活動を行うためには、良好な心・技・体の獲得が必要である。スポーツでは心理面の向上を目的としたスポーツメンタルトレーニング（SMT）が行われ、徐々に日常のトレーニングに含まれるようになってきたが、計画的・組織的な実践は、十分に行われていない。そこで、その理論と技法について学ぶ機会を設けて、特別強化指定部の学生が競技力の向上を図るための心理スキルを獲得出来るようなサポートを行うこととした。

【参加者】

・特別強化指定部の主将・主務（マネージャー）等の希望者：16名

【実施期間】

・11月－12月（後期授業期間内，原則隔週の実施）

【担当者】

荒木 雅信（スポーツ科学部・日本スポーツ心理学会認定上級 SMT 指導士）

山本 真史（スポーツ科学部・スポーツ心理学）

中尾 綾（スポーツ科学センター）

【講習プログラム】

第1回 11月1日（木）15：05－16：35

開講式，SMT の捉え方（SMT の実施のための基本的姿勢）担当：荒木

第2回 11月15日（木）15：05－16：35

SMT が使う理論とその背景 “**覚醒理論・不安理論・動機づけ理論**” 担当；荒木

第3回 11月29日（木）15：05－16：35

認知行動療法による SMT 実習 “**イメージトレーニング**” 担当；山本，荒木

第4回 12月6日（木）15：05－16：35

認知行動療法による SMT 実習 “**チームビルディング**” 担当；中尾，荒木

第5回 12月20日（木）15：05－16：35

講習の振り返り（ディスカッション），修了式

【受講者へのアンケート】

内 容	評 価	悪いと答えた理由
開催時期(10月-12月)	良い:10、悪い:2	・2年生になると自習が重なるため、時季を変えてもらえる といいと思います。 ・夏場の方が良いかと
開催時間帯(13:05-14:35)	良い:10、悪い:2	・3限の時間が良かった ・14:00 ぐらいからが良い
開催時間(1時間30分)	良い:12、悪い:0	
セッション(#1-5)	良い:11、悪い:1	・もう少し回数を増やして、深く学びたいと思った。
講習内容(プログラム)	良い:10、悪い:2	・知識や理論は理解できたが、どう展開すべきかさらに具 体的に例があるとなおいいと思った。 ・参加者同士が意見を伝え合う場がもう少しあってもいい かなと思いました。
参加人数(20名前後)	良い:12、悪い:0	
進度	良い:12、悪い:0	
担当者の対応	良い:12、悪い:0	
負担	有:3、無:7	

【総括】

今年度初めての試みで実施したスポーツメンタルトレーニング講習会は、日程調整に苦労したが受講者の学ぶ意識が高く、内容の濃い講習会となった。日本スポーツ心理学会認定上級 SMT 指導士の資格を持つ荒木先生を中心にスポーツ心理学を専門とする山本先生、中尾が担当した。講習会の中で、各部の主務やマネージャーにあたる受講者同士で部の現状を踏まえたディスカッションが行われ、現場で生かし方のイメージが持てたのではないかと感じる。

また、今回は全5回ということもあり、実践的な内容を入れることができなかったため、次年度以降は回数を増やし講習と実践形式の内容をプログラムに入れていきたい。また、対象者も選手とし、競技者としての心理スキルアップにつながる内容を検討していきたい。

(文責：中尾 綾)



参加者の集合写真



講習会の様子

4) 体組成測定

昨年度より SALTO の生理学実験室に導入された InBody を利用し、強化指定部の学生を対象とした体組成の測定を行った。今年度は各部の主務やマネージャーのサポートがあったため、希望する部は年間数回の測定が可能となった。基本的には、前期と後期各 1 回ずつの測定を行っている。

部員の入れ替わりもあるため単純に比較することはできないが、前期と後期の結果を表にまとめた。

【測定結果】

男子（2018 年 6 月）

部活動名	身長 (cm)	体重 (kg)	筋肉量 (kg)	体脂肪量 (kg)	体脂肪率 (%)	(n=)
水泳	168.5	64.6	50.6	11.0	16.8	15
サッカー	171.4	65.0	52.5	9.3	14.4	53
バスケ	175.3	69.3	55.3	10.7	14.9	18
ラグビー	169.7	77.5	57.7	16.5	20.7	40
アメフト	172.0	81.9	60.4	18.0	21.1	14
平均	171.4	71.7	55.3	13.1	17.6	140

女子（2018 年 6 月）

部活動名	身長 (cm)	体重 (kg)	筋肉量 (kg)	体脂肪量 (kg)	体脂肪率 (%)	(n=)
ソフト	160.2	60.9	41.9	16.4	26.6	50
バスケ	162.4	58.0	43.3	11.9	20.4	16
水泳	162.0	51.7	38.1	11.2	21.8	2
平均	161.5	56.8	41.1	13.2	22.9	68

男子（2018 年 10 月）

部活動名	身長 (cm)	体重 (kg)	筋肉量 (kg)	体脂肪量 (kg)	体脂肪率 (%)	n=
男子ソフト	169.9	70.0	52.8	14.2	19.0	22
サッカー	170.2	63.5	50.5	9.2	14.4	49
ラグビー	169.5	77.5	57.9	16.3	20.7	42
アーチェリー	169.8	64.9	49.3	12.7	19.2	9
陸上	170.8	63.2	52.7	7.4	11.8	4
アメフト	171.8	80.6	58.5	18.7	21.9	18
男子ラクロス	170.5	65.9	51.7	11.2	16.6	18
男子バスケ	173.2	64.8	51.8	10.0	14.9	11
水泳	168.6	63.8	50.0	10.9	16.8	17
平均	170.2	69.3	53.3	12.8	17.7	190

女子（2018 年 10 月）

部活動名	身長 (cm)	体重 (kg)	筋肉量 (kg)	体脂肪量 (kg)	体脂肪率 (%)	n=
女子ソフト	159.5	57.3	41.5	13.2	22.9	16
アーチェリー	158.6	54.5	36.9	15.3	29.0	8
女子ラクロス	159.9	56.0	38.3	15.3	26.9	17
水泳	162.1	50.9	38.1	10.5	20.7	3
女子バスケ	162.4	56.8	42.2	11.3	19.9	16
全体平均	160.4	56.1	40.0	13.4	23.9	60

5) 各部の活動報告

今年度の活動報告として、試合結果・地域貢献活動を中心に各部が報告書を作成した。

	部活動名	ページ
1	サッカー部	15
2	ラグビー部	16
3	硬式野球部	17
4	男子ソフトボール部	18
5	女子ソフトボール部	19
6	女子バスケットボール部	20
7	男子バスケットボール部	21
8	アメリカンフットボール部	22
9	陸上競技部	23
10	水泳部	24
11	アーチェリー部	25
12	準硬式野球部	26
13	男子ラクロス部	27
14	女子ラクロス部	28
15	弓道部	29
16	ゴルフ部	30
17	卓球部	31
18	硬式テニス部	32
19	合奏研究会吹奏楽団	33
20	バドミントン部	34
21	夢人島	35

※記載は順不同

2018年度 / 部サッカー部

活動報告書

● 2018 年度結果

愛知県リーグ 優勝

⇒東海 2 部リーグ昇格決定

東海学生サッカー選手権 1 回戦敗退



今年は目標である、愛知県リーグで優勝を決め、チャンピオンシップも勝ち上がり、東海 2 部リーグ昇格という最大の目標を達成することができました。しかし東海学生サッカー選手権においては 1 回戦敗退と結果を残すことができませんでした。

● 2018 年度地域貢献活動

少年サッカー教室の開催

少年サッカー大会審判派遣

美浜タウンマラソン参加



● 2019 年度目標

東海 1 部リーグへの昇格 総理大臣杯への出場



東海 2 部リーグ昇格後 1 年での東海 1 部リーグへの昇格、そして、前年度早々に敗退してしまった総理大臣杯への出場を目標として 1 部サッカー部は始動します。

新入生を迎え入れて戦力も大幅に強化されます。競争の中でもがき苦しみながらも自分を見つめなおし、磨き、個人の存在価値を証明する一年にしていきます。

チーム一丸となり、結果を掴み取ります！

～歓喜を再び！～

2018 年度活動報告書（ラグビー部）

1. 2018 年度活動報告

2018 年	9 月	東海学生ラグビーリーグ戦 VS 朝日大学	●7-97○
2018 年	9 月	東海学生ラグビーリーグ戦 VS 中京大学	●7-83○
2018 年	10 月	東海学生ラグビーリーグ戦 VS 名城大学	●17-66○
2018 年	10 月	東海学生ラグビーリーグ戦 VS 愛知工業大学	●21-57○
2018 年	10 月	東海学生ラグビーリーグ戦 VS 名古屋学院大学	●31-39○
2018 年	10 月	東海学生ラグビーリーグ戦 VS 愛知学院大学	●21-79○
2018 年	11 月	東海学生ラグビーリーグ戦 VS 中部大学	●14-52○
2018 年	11 月	東海学生ラグビーリーグ戦入れ替え戦 VS 名古屋経済大学	●21-33○

2. 2018 年度掲げた目標の達成度

今年度は、残念なことに目標を達成できませんでした。

日本福祉大学ラグビー部の強みと言えばやっぱりディフェンス!! そんなディフェンスをもっと強化して来年のリーグ戦へ向けて頑張っていきたいです。

3. 地域貢献活動

「第7回スペシャルオリンピックス」のボランティアに部員3名が参加しました。

スポーツ科学部 鬼頭 佑輔

坂井 太一

社会福祉学部 井上 颯大

4. 2019 年の目標

来年度は、部員、スタッフ共々力を合わせてAリーグ昇格を目指します。



2018 年度活動報告書 (硬式野球部)

2018 年度公式戦結果

★平成 30 年度 愛知大学野球 春季リーグ戦

- ✓ 至学館大学 6-3● 7-1○
- ✓ 愛知産業大学 8-2○ 6-5●
- ✓ 同朋大学 2-0○ 5-2●
- ✓ 愛知学泉大学 3-1○ 4-0●
- ✓ 愛知東邦大学 7-4● 2-0●
- ✓ <チーム成績>2部 B リーグ同率 4 位 (4 勝 6 敗)

★平成 30 年度 愛知大学野球 秋季リーグ戦

- ✓ 星城大学 1-0○ 7-5●
- ✓ 至学館大学 3-0○ 6-5●
- ✓ 同朋大学 1-0○ 3-0●
- ✓ 名古屋経済大学 8-1○ 7-5○
- ✓ 愛知工業大学 9-6○ 3-2●

<チーム成績>2部 B リーグ同率 2 位 (6 勝 4 敗)

2018 年度 地域貢献活動

毎冬トレーニングのため利用している内海海水浴場のゴミ拾いを行いました。また、大学内のゴミ拾いも定期的に行っています。

さらに、今年度は昨年度よりも積極的にボランティア活動に参加しました。

日本福祉大学で行われた車いすソフトボールや、知多半島で行われたサンタ run という行事等のボランティア活動を通じて地域の方々との関係を築くことができました。

来年度も地域の方々からの関係をより深く築き、地域から応援される硬式野球部になれるよう、積極的に地域貢献活動に参加していきます。

2018 年度目標達成度

昨シーズンは春、秋リーグ共に前半は首位争いをしていましたが終盤に失速し悔いの残る順位となりました。

2019 年度 目標

今年度こそ“一部昇格”の目標を達成するためにチーム一丸となり精進して参ります。

ご声援宜しくお願い致します！



日本福祉大学男子ソフトボール部 2018 年度活動報告書



男子ソフトボール部は、2018 年の目標として「**インカレベスト 4**」という競技面での目標と、「**挨拶の徹底**」「**正しい身だしなみを心がける**」という日常生活面での目標を掲げてきました。

2018 年度 結果・成果

- | | |
|-----------------------------------|--------------|
| ・平成 30 年度春季東海地区大学男子 I 部ソフトボールリーグ戦 | 第 3 位 |
| ・文部科学大臣杯第 58 回全日本大学男子ソフトボール選手権大会 | ベスト 8 |
| ・平成 30 年度秋季東海地区大学男子 I 部ソフトボールリーグ戦 | 準優勝 |
| ・第 19 回愛知県大学選手権 | 優勝 |

競技面：「**インカレベスト 8**」

ベスト 8 で対戦した日本体育大学との差

インカレでは、優勝を果たした日本体育大学とベスト 8 で対戦しました。その試合で感じたのは、「打撃力の差」です。個々の打撃力向上のために、筋力トレーニングを練習メニューに組み込み、「振る力」から鍛える必要があると感じました。

日常生活面：「**達成**」

応援されるチーム・選手になるために

挨拶・身だしなみなど当たり前のことができなければ、応援される選手・チームにはなれないということを実感した 1 年でした。来年度も良い成果となるように、選手間での目標の共有を徹底していきます。

2019 年度目標

競技面：「**インカレベスト 4**」

日常生活面：「**社会に出ても恥ずかしくない人間に**」

『各試合会場の清掃活動（4 月～11 月）』

会場で試合をさせていただき感謝の気持ちと応援しに来ていただく方たちが次も応援しにきたいと思っていただけるよう、試合終了後、清掃活動を行いました。

2018 年度 女子ソフトボール部活動報告書

☆2018 年度大会結果☆

- ・東海地区春季リーグ 1 部第 4 位
- ・第 50 回西日本インカレ（徳島県）ベスト 8
- ・東海地区春季リーグ 1 部第 4 位

2018 年度目標

東海地区リーグ優勝、インカレ優勝でしたが、東海地区リーグ戦は 1 部 4 位、インカレには出場することができませんでした。



2019 年度チーム目標

リーグ優勝
インカレ上位入賞

☆2018 年度地域貢献活動☆

“運拾い”

空き時間があれば、運拾い！
グラウンド周辺、学内、海岸の
清掃活動を行っています。



☆2019 年度目標☆

東海地区リーグ優勝 インカレ上位入賞

2019 年度は部員 42 名で活動していきます。昨年果たすことのできなかった、インカレに出場しチーム目標である『インカレ上位入賞』に向けて、チームスローガンである『強い気持ち』を持ち日々練習に励んでまいります。

これからも女子ソフトボール部に、暖かいご声援のほどよろしくお願いいたします。

2018年度活動報告書：女子バスケットボール部

【部員】

- ・山本秀人部長・中尾綾監督・岡村幸枝トレーナー
- ・選手：3年生5人、2年生5人、1年生6人
- ・マネージャー2人



【2018年度目標・テーマ】

目 標：東海学生リーグ 3部全勝優勝・2部昇格

テーマ：どろくさいチーム（リバウンドルーズでは負けない）

【2018年度結果】

- ・東海学生バスケットボール大会 ベスト16
- ・女子第67回西日本学生バスケットボール大会 二回戦敗退
- ・第89回東海学生バスケットボールリーグ戦 **3部優勝・2部昇格**

日々の厳しい練習に励み、個人の技術とチーム力を向上させ、3部優勝・2部昇格を勝ち取ることができました。



【地域貢献活動】

- ・名古屋南義護学校にてバスケットボール交流
- ・美浜町バスケットボール大会の運営協力（会場準備、審判、オフィシャルなど）
- ・東海中学ドリームマッチの運営協力（会場準備、審判、オフィシャルなど）

【2019年度の目標】

目 標：東海学生リーグ **2部上位！**

テーマ：コミュニケーションがとれるチーム



2018 年度活動報告書（男子バスケットボール部）

🏀 18 年度の大会結果 🏀

〈第 56 回東海学生バスケットボール大会〉 2 回戦進出

〈男子第 68 回女子第 67 回西日本学生バスケットボール選手権大会〉 3 回戦進出

〈第 89 回東海学生バスケットボールリーグ戦 3 部リーグ〉

- 1 回戦目 日本福祉大学 VS 浜松学院大学 73-56○
- 2 回戦目 愛知教育大学 VS 日本福祉大学 63-60●
- 3 回戦目 三重大学 VS 日本福祉大学 72-70●
- 4 回戦目 日本福祉大学 VS 静岡県立大学 101-47○
- 5 回戦目 中部大学 VS 日本福祉大学 57-97○

【3 部リーグ 3 勝 2 敗 C ブロック 3 位】

🏀 地域貢献活動 🏀

クリーンキャンパスキャンペーン

クリニック（小中学生対象）

大学祭（模擬店出店）



🏀 2018 年度掲げた目標の達成率 🏀

2018 年度の結果では、目標の「二部リーグ昇格」という目標は達成できませんでした。ですが、ブロック 1 位 2 位とは僅差まで追い詰め、あと一步のところまで来たので、来年は今年のこの悔しさを忘れずにトーナメント、リーグ戦に挑んでいきたい。



🏀 2019 年度目標 🏀

＼2 部リーグ昇格／

応援宜しくお願いします！！

2018年度 アメリカンフットボール部 WINGS 活動報告書



2018年度結果

《2部Aリーグ2勝2敗》

- ・日本福祉大学 VS 岐阜大学 46-6 ○
- ・日本福祉大学 VS 四日市大学 13-26×
- ・日本福祉大学 VS 信州大学 10-7 ○
- ・日本福祉大学 VS 三重大学 15-33×



2018年度掲げた目標の達成度

2018年度の目標は1部リーグへ昇格することでしたが、残念ながら2勝2敗という結果に終わってしまい、目標を達成することができませんでした。



地域貢献活動

- ・奥田駅～野間大坊間道路沿線における活動
(奥田駅から野間大坊までの道のり)
- ・クリーンキャンパスキャンペーンへの参加
(美浜キャンパス内の清掃活動)
- ・知多半島内におけるスポーツ普及広報活動
(東海学生アメリカンフットボール連盟ポスター配布、活動成果のSNS配信)
- ・クリーンアップアクションへの参加
(東海学生アメリカンフットボール連盟主催競技場の清掃活動)



2019年度の目標

2019年度も1部昇格を目標にし、「one vision」というスローガンを掲げました。
部員のみんなが同じ目的地(1部昇格)に向かって、これからも練習を頑張っていきます。

2018 年度 陸上競技部 活動報告書

●2018 年度結果

第 70 回西日本学生陸上競技対校選手権大会 井内月野 800m 出場

WPA 北京グランプリ 2018 高橋峻也 やり投げ第 2 位

日本パラ選手権大会 高橋峻也 やり投げ第 5 位入賞

●2018 年度掲げた目標達成度

2018 年度は東海インカレにおいて、昨年度よりも多くの選手が出場することができました。大坂さんが混成競技にて 8 位入賞し、大学に 1 点を加算することができました。

井内さんが 800m 走にて西日本インカレへの出場権を獲得し、出場しました。

高橋さんはアジアでも活躍し 2 位、日本パラリンピック選手権においても 5 位入賞するという成績を収めました。

●地域貢献活動

美浜スポーツランニング 1 年間活動。

高校陸上競技大会の審判として参加。

美浜タウンマラソン（1 月 20 日開催）に選手・ボランティアとして参加。

クリーンキャンパスキャンペーンへの参加。



美浜スポーツランニング



美浜タウンマラソン

●2019 年度の目標

1 人でも多くの選手が東海インカレでの入賞、西日本や全日本インカレへの出場が決まるように、日々の練習に励んでいきます。また今年度から新体制が始まり、多くの新入生が入部することなので、部員一人一人が目標を持ち意識を高めあい、当たり前のことができるよう頑張っていきたいと思っています。

2019 年度も皆から応援される
選手として頑張ります！



2018 年度活動報告書(水泳部)

競泳

○2018 日本学生選手権水泳競技大会 男子 1 名出場

パラ競泳

○2018 ジャパンパラ水泳競技大会

50m 自由形 4 位 100m 自由形 1 位 400m 自由形 2 位 50m バタフライ 5 位

○2018 日本パラ水泳競技大会

100m 自由形 1 位 400m 自由形 1 位

○あいち強化指定選手 (パラリンピック) 後藤 陸斗、安田 帆孝

トライアスロン

○ITU 世界エイジグループトライアスロン選手権【スプリント】 11 位 (58 人)

【スタンダード】 13 位 (43 人)



2017 年度に掲げた目標

- ・(競泳) 中部学生選手権水泳競技大会出場・入賞→**達成**
- ・(パラ競泳) ジャパンパラ、日本選手権 金 5 個以上→**未達成**
- ・(パラ競泳) ワールドパラスイム出場→**未達成**
- ・(トライアスロン) 日本学生トライアスロン選手権出場、団体入賞→**一部達成**
- ・(トライアスロン) 日本トライアスロン選手権出場→**未達成**

2019 年度の目標

- ・(競泳) 日本学生選手権水泳競技大会 2 名以上出場
- ・(競泳) 中部インカレ男子総合 8 位以内、女子総合 7 位以内
- ・(パラ競泳) ジャパンパラ メダル 5 個
日本選手権 金メダル 2 個含む総メダル 4 個
- ・(トライアスロン) 全員が日本学生トライアスロン選手権出場

※地域貢献活動なし



2018 年度活動報告書（アーチェリー部）



2018 年度結果

東海学生アーチェリー王座出場校決定戦

男子 3 位

女子 2 位 王座出場

全日本学生アーチェリー女子王座決定戦

女子 2 位

東海アーチェリー新人選手権大会

男子優勝 大会新記録樹立

東海学生アーチェリー個人選手権大会

ベスト 8 男子 佐藤

女子 松浦

東海学生アーチェリーインドア選手権大会

男子 8 位 尾形

女子 12 位 木原

目標達成度

2018 年は女子のみ王座決定戦に出場し目標達成とはいきませんでした。

今年度の目標

今年是一年生の勢いがすごく上級生のいい刺激になっています。この環境をいかしつつ今年度は男女ともに王座決定戦に出場します。

地域貢献活動

地域貢献活動では地元の大会などに参加し、地元の大会を手伝い・盛り上げています。

2018 年度 準硬式野球部 活動報告書

◆ 18年度結果

東海地区大学準硬式野球選手権大会 / 名古屋学院大学に6-7で一回戦敗北

春季リーグ戦(4部リーグ) / 4勝1敗でリーグ2位(4部残留)

新人交流大会(2チーム出場) / Aチーム 中京大学Bに5-7で敗北

Bチーム 中京大学Dに延長10回9-4で敗北

秋季リーグ戦(4部リーグ) / 5勝0敗でリーグ1位

入れ替え戦 藤田医科大学に8-0で7回コールド勝ち(3部昇格)



◆ 18年度掲げた目標の達成度

2018年度の目標として2部昇格と3年連続全国大会出場を目指していましたがどちらも達成することができず、3部昇格という結果で終わってしまいました。

◆ 地域貢献活動

今年度は学校の活動に参加することはできましたが、地域の方々との交流を深めるような活動は実施できなかったため、来年度はチームで話し合い計画的に相談して積極的に活動できるように頑張ります。

◆ 2019年度の目標

・東海選手権を勝ち抜き、全国大会出場 ・2部リーグへ昇格



2018 年度 男子ラクロス部 活動報告書

◆ 2018 年度 結果 ◆

【第 27 回東海学生ラクロスリーグ戦】

・男子 2 部リーグ(2 部リーグ 6 校 総当たり戦)

対戦校	スコア	結果
中部大学	6-5	WIN
中京大学	3-5	LOSE
愛知教育大学	6-6	DRAW
名古屋商科大学	18-0	WIN
滋賀大学	7-3	WIN
愛知学院大学	9-6	WIN

→ 結果: 2 部リーグ 2 位

・入れ替え戦(1 部 5 位 vs 2 部 2 位)

対戦校	スコア	結果
愛知大学	9-16	LOSE

→ 結果: 2 部残留



・ベストプレイヤー

(他大学から見て、リーグ中最も活躍したと思う選手に贈られる)

- 只見 陽介 (4 年)
- 森川 颯志 (3 年)

◆ 2018 年度 目標達成度 ◆

目標: 一部昇格 スローガン: 「向上心」

昨年は、「初心に戻り意識を高く持とう」という意味合いが込められたスローガンを掲げ、ここ数年未達成のままでいる、「一部昇格」を目標に活動してきました。結果としては「二部残留」という結果に終わってしまい、100%の目標達成は出来ませんでした。しかし、「二部リーグ下位」だった成績を、今シーズンは「二部リーグ 2 位」まで大きく結果を伸ばすことができました。

◆ 地域貢献活動 ◆

- 「ラクロス献血推進活動」への参加
 - 毎年年度末に部員全員で献血、並びに一般の方々への呼びかけ、PR 活動などを行う
- 奥田海岸や外部グラウンド周辺の清掃
 - 普段から活動への感謝を込めてゴミ拾いを行う



◆ 2019 年度 目標 ◆

目標: 二部全勝 スローガン: 「Change」

今シーズンは入れ替え戦出場まで結果を残したものの、一部リーグの強さを目の当たりにし、最終的には 7 点もの得点差を付けられ、二部残留という結果に終わってしまいました。一部のレベルを体験し、「確実に一部昇格を果たすには…」と部員全員で話し合ったところ、「二部全勝」することを目標にしようと意見がまとまりました。今度こそ!状況を「Change」してやる!そんな思いをスローガンに掲げ、チーム一丸となって目標に向かっていきます。応援よろしくお願いします!

2018年度 女子ラクロス部 活動報告書

2018年度の大会結果

第27回 東海学生ラクロスリーグ戦 2部リーグ 2位

2017年度に掲げていた目標に対しての達成度

2部8位から2位へと這い上がり、入れ替え戦出場というリーグ目標を達成した。

しかし、大差で負け、一部という舞台で私たちが戦うにはまだまだ足りない部分があると一人一人が強く実感した試合だった。



2019年度の目標

☆リーグ目標「二部制覇」

二部で全勝することが、一部昇格を実現するために必要だと考え、この目標を設定した。

☆チーム目標「喜努愛楽」

喜：勝利を掴み全員で喜ぶ

努：目標に向かって一人一人がチームのために努力をする

愛：礼儀や雰囲気大切に、周りから愛されるチームになる

楽：ラクロスを楽しむことを忘れずにプレーする

一部員全員が意識することをこの4文字に込めた。



◎目標を達成するためにすること

① 綿密なコミュニケーション

練習のメニュー間によかった点・反省点を全体で共有し、技術を向上させるだけでなく、チームの雰囲気作りを心がける。ラクロスノート、ビデオ反省を通してプレーに対する疑問点や改善点を考え直す。

② 体力トレーニング

試合で必要とされる瞬発力・持久力を高めるためにアップの量を増やすとともに、練習の終わりに長距離走・短距離走を中心とするメニューを取り入れる。

インボディを定期的に測定することで自分の身体を理解し、自己管理へと繋げる。



2018年度 弓道部 活動報告書

① 2018年度の成績結果

- ・第61回東海学生弓道選手権大会 団体男女予選敗退 個人 大脇涼雅 野田彩人通過
- ・第52回愛知県下学生弓道大会 団体男女予選敗退
- ・第66回全日本学生弓道選手権大会個人予選 森楓恋 予選通過
- ・第66回全日本学生弓道選手権大会 団体男女予選敗退 森楓恋 射詰1本目で敗退
- ・第55回東海学生弓道新人戦 団体予選敗退 個人 野田彩人通過
- ・第29回東海学生女子弓道新人戦 団体予選敗退 個人 岡本花通過

- ・第62回東海学生弓道秋季リーグ戦 男子Ⅳ部Aブロック 1勝2敗よりⅣ部残留

男子Ⅳ部A	静岡県立	静岡理工科	南山	日本福祉	勝	負	的中率	順位
静岡県立		49●55	49●86	47●69	0	3	30.21%	4
静岡理工科	55○49		63●96	74○70	2	1	40.00%	2
南山	86○49	96○63		86○65	3	0	55.83%	1
日本福祉	69○47	70●74	65●86		1	2	42.50%	3

- ・第62回東海学生弓道秋季リーグ戦 女子Ⅳ部Aブロック 1勝3敗よりⅣ部残留

女子Ⅳ部A	愛知県立	愛知工業	常葉	日本福祉	名城	勝	負	的中率	順位
愛知県立		40○23	37○15	29○24	29●34	3	1	56.25%	2
愛知工業	23●40		24○17	22●34	33●38	1	3	42.50%	5
常葉	15●37	17●24		28○23	0○0	2	2	33.33%	3
日本福祉	24●29	34○22	23●28		22●37	1	3	42.92%	4
名城	34丸29	38○33	0●0	37○22		3	1	45.42%	1

② 2018年度掲げた目標達成度

今年は男女ともに東海大会ベスト8、Ⅲ部昇格を目標に活動してきたが、達成できなかった。しかし、個人での通過者など所々で力は出てきた。しかし、団体で結果を残していくためには、個々の力をチーム力の強化に発展させ、磨きをかけていく必要がある。

③ 2018年度の地域貢献活動

第20回ゆめたろうスマイルマラソンのスタッフボランティア

④ 2019年度の目標

今年の目標は、東海大会・愛知県下大会でのベスト8以上。全日本選手権では、昨年個人では一人のみであったため男女ともに多くの進出。リーグ戦では、男女ともに3部昇格を目指す。個々の力では、昨年以上の力がついていると感じている。この流れで目の前の一つ一つの大会に集中して臨んでいく。リーグ戦では、全勝しなければ昇格は不可能という厳しい戦いになる。男子は、昨年に比べ勝ち星を増やした。女子は、昨年に比べ順位を落とした。しかし、部員を増やし、新体制で臨むリーグ戦は選手間での争いも激化し、チームの底上げにつながる。日々の練習での工夫は勿論であるが、部員同士のコミュニケーションを大事にしながら目標に向かって励んでいく。

2018 年度 ゴルフ部活動報告書

2018 年度実績



主な大会結果

目標である中部
トップ 10 に入れず

- ◆ 8 月定例会（芦田諒太）
16 位（56 人中（42・39＝81）
- ◆ 平成 30 年度中部日本アマチュア
ゴルフフェーズ選手権予選（芦田諒太）
13 位 T（41・43＝84）決勝出場権獲得



地域貢献活動

新たに 2 つの
ボランティアに参加！

- （今年度から）
- ◆ 第 23 回日本障害者オープンゴルフ
選手権運営ボランティア（10 月）
- ◆ 半田シティーマラソンボランティア
（昨年度より） みはまスポーツクラブ
スナッグゴルフ運営サポート・指導等

2018 年度達成

地域貢献活動は充実させることができたが、大会では良い成績を残せなかった。

2019 年度目標

部員数を増やし活動の活性化
を図り、中部トップ 10 入り
を目指す！

- ◆ ゴルフ部活動の体制づくり（部員数の増加）
- ◆ ゴルフ競技の中部トップ 10 入り（継続目標）
- ◆ みはまスポーツクラブ（スナッグゴルフ）の運営支援
- ◆ 日本障害者ゴルフ協会（中部支部）活動の運営支援



2018 年度 卓球部 活動報告書

1. 2018 年の結果

東海卓球選手権

男子第二部 準優勝

女子第二部 3 位

東海学生卓球秋季リーグ戦

男子第二部 3 位

女子第二部 5 位

2. 2019 年の目標

男女ともに

春季リーグ戦で優勝&一部昇格を目標に努力します

秋季リーグも一部昇格

3. 2018 年に実施した地域貢献活動

定期的に美浜町の小学生から年配の方までを対象に卓球の指導を行った。
美浜町が主催する大会に積極的に参加した。



2018年度硬式テニス部活動報告書

・18年度大会結果

- 団体・男子東海地区リーグ2部4位
- ・女子東海地区リーグ2部2位

個人・東海学生春季テニストーナメント

男子シングルス 菱輪省吾 本戦2回戦進出

女子ダブルス 中川・長岡組 本戦2回戦進出

・東海学生テニス選手権大会

男子ダブルス 武石・菱輪組 本戦2回戦進出

女子シングルス 中川杏 本戦3回戦進出

女子ダブルス 諏訪原・中川組 本戦2回戦進出

・東海学生チャレンジテニストーナメント

女子シングルス 奥岡史帆 3位

・東海学生選抜室内テニス選手権予選大会

女子シングルス 中川杏 2位



東海ポイントランク上位
28名しか出場できない

・18年度地域貢献活動

- ・地域のテニスクールでヒッティングパートナーを行う
- ・大会の審判要請への審判の派遣
- ・日本福祉大学クリーンキャンパスキャンペーンへの参加

・来年度の目標



1部リーグ昇格

前年度のリーグ戦は男子は東海地区2部リーグ4位、女子は2部リーグ2位と男女ともに前回のリーグ戦より良い結果が残せているため、このまま勢いにのり、新一年生も加えた新体制で今年こそ1部リーグ昇格を目指し日々意識高く練習に励んでいきます。応援よろしくお願いします！

2018 年度 活動報告書(日本福祉大学合奏研究会吹奏楽団)

① 2018 年度結果

2018 年 8 月 5 日

全日本吹奏楽コンクール愛知県大会 **銀賞**

② 2018 年度に掲げた目標の達成度

2018 年度目標『心に響く音楽を』

本年度から、付属高校吹奏楽部とのホールの活用方法の共有を図り、効率的に練習に取り組むことができた。

また、楽団初となる名古屋での吹奏楽フェスティバルなどの知多半島内だけでなく、学外でのイベント参加を経て多くの人にサークルを知ってもらう機会を作った。



③ 2018 年度地域貢献活動・学内外演奏等

2018 年

- 4 月 2 日 入学式演奏
- 11 月 3 日 大学祭演奏
- 11 月 18 日 愛知県吹奏楽フェスティバル演奏
- 12 月 3 日 南部子育て支援センター依頼演奏
- 12 月 9 日 美浜町文化振興事業 美浜町まちなちの音楽会演奏
- 12 月 22 日 社会福祉法人東海福寿園訪問演奏

2019 年

- 2 月 2 日 半田児童センター依頼演奏
- 2 月 9 日 日本福祉大学合奏研究会吹奏楽団第 38 回定期演奏会
- 2 月 23 日 知多半島春の国際音楽会演奏
- 3 月 16 日 卒業式演奏

④ 2019 年度目標

「音楽に親しみ多くの人に吹奏楽を知ってもらう」

全日本吹奏楽コンクール愛知県大会にて、銀賞という昨年度と同じ結果で終わったため、次年度ではこの結果を最低限のものとし更なる高みへ到達できることを目指し、今後の練習に取り組んでいきたい。

また、本年度は初の知多半島外でのイベント参加を経て多くの人にサークルを知ってもらう機会を作ることには楽団員にとっても刺激となったため、今後も地域にて新しい演奏場所を獲得できるよう活動していきたい。

2018 年度 活動報告書 バドミントン部

2018 年度結果

第 127 回東海大学バドミントン選手権大会(春季リーグ)男子:1 部リーグ 3 位 女子:1 部リーグ 3 位

第 128 回東海大学バドミントン選手権大会(秋季リーグ)男子:1 部リーグ 2 位 女子:1 部リーグ 4 位

安藤拓実 第 66 回東海学生バドミントン選手権大会 男子ダブルス 優勝

福原聡 第 66 回東海学生バドミントン選手権大会 男子ダブルス優勝 男子シングルス準優勝

池田大晟 第 66 回東海学生バドミントン選手権大会 男子ダブルス 準優勝

第 40 回東海新人バドミントン選手権大会 男子シングルス 3 位 男子ダブルス準優勝

細川貴弘 第 66 回東海学生バドミントン選手権大会 男子ダブルス 準優勝

第 40 回東海新人バドミントン選手権大会 男子ダブルス 準優勝

2018 年度の目標

男子リーグ戦 1 部 3 位以上 (達成)

女子リーグ戦 1 部 3 位以上 (達成)

地域貢献活動

パラバドミントン選手と交流

地域が主催する大会に参加(美浜町大会)



2019 年度の目標

滅私奉公

夢人党 2018 年度活動報告書

① 2018 年度結果 以下のお祭り出場

月	お祭り
4 月	新入生歓迎会 さくらまつり 有松藍琉祭り
6 月	犬山踊芸祭
7 月	中川金魚祭り
8 月	美濃源氏七夕祭り にっぽんど真ん中祭り
10 月	安濃津よさこい
11 月	大学祭
12 月	バサラカーニバル
1 月	新年交礼会
3 月	浜松がんこ祭り



② 2018 年度目標達成度

目標として、にっぽんど真ん中祭り「U-40 部門大賞」を掲げたが、達成は出来なかった。

③ 地域貢献活動

➤ 施設演舞・演舞依頼

(豊橋大清水地区センター祭り・内海七夕まつり・パスピ秋祭り・発達センター熱田あったかカーニバル・中京ハウジングセンター西尾・野間学区運動会・あい寿の丘祭り・ぴあおひさま秋祭り・愛フェス・愛知淑徳大学大学祭・武豊町くすのき児童館運動会・津島市秋のウォークラリーフェスティバル・サンタラン・新年交礼会・大府市立桃山保育園誕生日会・名南こどものあいかわ保育園)

➤ DCP(どまつりクリーンプロジェクト)=にっぽんど真ん中祭り会場清掃を毎月一回

④ 2019 年度の目標

「日本一の笑顔」

2018 年度では“大賞”を意識したことによって、心から楽しく踊ることが出来なかったと感じた。チーム目標である「日本一夢を与えるチーム」をかなえるためには、まずメンバーがキラキラの笑顔で踊れる雰囲気づくりが必要だと思い、この目標をたてた。

4. スポーツ大会（バスケットボール大会）

【スポーツ科学センター主催 美浜キャンパスバスケットボール大会】

1. 目 的

一般学生に対しスポーツをする場・機会を提供し、学部や学年、スポーツ経験の有無を超えた交流を図る。

2. 日 時

2018 年 6 月 21 日（木） 13:30～17:30 （受付 13:15～）

3. タイムテーブル

13:15 受付開始

13:30 開会式

14:00 試合開始

16:50 集合写真

17:00 閉会式→片付け

4. 場 所

SALTO1 階 スポーツ演習室

5. 競技規則

- ・試合時間：8 分－2 分－8 分（前後半でコートチェンジをする。後半残分 2 分は正式ルール）
- ・タイムアウトは前後半各 1 回までとする（ベンチ or 選手が要求）。
- ・チームファールは、前後半各 4 つ目から相手チームにフリースローを与えることとする。
- ・試合終了後は、両チームハイタッチをしてお互いの健闘を称える。
- ・審判・オフィシャルは男子・女子バスケットボール部員が行う。

6. 表 彰

A グループ：優勝チーム（1 チーム）

C グループ：いいチームで賞（1 チーム）→審判・オフィシャルメンバーの投票により選出
個人賞（参加者の投票により選出）：MIP 賞（A）、フェアプレー賞（C）

7. 試合時間と組み合わせ

試合時間	A コート (真ん中)	B コート (奥)
14:00 (A-1)	小松ゼミ vs 魔苦怒奈流努	愛知なかたけファイターズ vs ウエダーズ
14:35 (C-1)	Win-Win ファイターズ vs からあげくん	NODUNKS vs チーム湯原
15:10 (A-2)	小松ゼミ vs ウエダーズ	愛知なかたけファイターズ vs 魔苦怒奈流努
15:45 (C-2)	Win-Win ファイターズ vs NODUNKS	チーム湯原 vs からあげくん
16:20 (A-3)	愛知なかたけファイターズ vs 小松ゼミ	魔苦怒奈流努 vs ウエダーズ

8. 試合結果

<A グループ>

チーム	小松ゼミ	ウエダーズ	魔苦怒奈流努	愛知なかたけ ファイターズ	勝	敗	勝ち点	順位
小松ゼミ		22-35 ●	4-51 ●	14-32 ●	0	3	3	4
ウエダーズ	35-22 ○		29-26 ○	31-30 ○	3	0	6	1
魔苦怒奈流努	51-4 ○	26-29 ●		22-21 ○	2	1	5	2
愛知なかたけ ファイターズ	32-14 ○	30-31 ●	21-22 ●		1	2	4	3

<C グループ>

- ・ Win-Win ファイターズ 16-28 からあげくん
- ・ NODUNKS 36-2 チーム湯原
- ・ Win-Win ファイターズ 13-34 NODUNKS
- ・ チーム湯原 9-32 からあげくん

9. 最終結果

<A グループ>

優勝：ウェダーズ

2位：魔苦怒奈流努

3位：愛知なかたけファイターズ

4位：小松ゼミ

<表彰>

いいチームで賞：Win-Win ファイターズ（社福2年）

MIP 賞（Aより）：植田泰知（スポ科1年）

フェアプレー賞（Cより）：重島蓮（スポ科1年）

10. 総括

今年度、一般学生向けのスポーツイベントとして企画したバスケットボール大会は、美浜キャンパスに在籍する学生で8チームがエントリーし、60名を超える参加者となった。試合は、男子のみで構成したAグループが4チームの総当たり、男女混合チームで構成したCチームが2試合の交流戦を行った。どの試合も白熱しており、会場は非常に盛り上がった。また、今大会の目的でもある学部や学年・スポーツ経験の有無を超えた交流を図るという点においても、試合後のハイタッチや対戦相手と抱擁する姿から、その成果が伺えた。

今大会の運営には男子・女子バスケットボール部員が審判・TOとして協力してくれたため、非常に円滑に大会を遂行することができた。参加した学生からも非常に満足したという声が多く、次年度以降もスポーツを通じた交流の場というものを提供していきたいと感じた。

（文責：中尾）



優勝チーム：ウエダーズ



いいチームで賞：Win-Win ファイターズ



MIP 賞：植田泰知くん（スポ科1年）



フェアプレー賞：重島蓮くん（スポ科1年）



参加者全員で集合写真



大会の様子

5. みはまスポーツクラブの活動支援について

美浜町と日本福祉大学の連携事業として設立された「みはまスポーツクラブ」は、2012年9月に設立後、町民のニーズを丁寧に探りながらスポーツ推進委員の皆さんが中心となり、その活動を広げてきました。今年度はこれまでの活動を振り返り、組織としてステップアップすることを目標に、下記の活動を支援しました。

1) 法人格取得に向けた具体的な準備

みはまスポーツクラブ設立準備期間を含めた8年間（2010年～2018年）の活動成果と今後の課題、めざす姿を整理し、『私たちの町のスポーツ環境をよりよくし、多様化する町民のニーズに応えていくためには、これまでの成果を踏まえて、さらに活動を広げていく必要がある』ことを確認し、法人格取得に向けた具体的な準備を進めました。

【活動成果】

- 町民のニーズを丁寧に探りながらスポーツ推進委員が中心となり活動を広げてきた。
 - ・年間延べ教室・サークルの実施回数が 65回→ 636回へと約10倍増加
 - ・年間延べ参加者数が 830人→約 8,500人へと約10倍増加
- 事務局体制が十分でない中、クラブ運営を支え続けてきた人たちがいた。
- 生涯スポーツ（レクリエーションやニュースポーツ）の充実を図り、町内で気軽に運動やスポーツができる環境づくりに寄与してきた。

【今後の課題】

- 事務局体制の不備・・・非正規雇用の職員とボランティアによる業務の限界
- 財政基盤の脆弱性・・・町行政と大学からの負担金への依存
- 広報活動の不足・・・クラブの理念やビジョン等、正しい情報の周知不足

【めざす姿】

- 運営主体の明確化・・・運営している「人」が見える団体に → 法人格取得
- 事務局体制の確立・・・常勤職員の雇用（次世代の育成を視野に入れた体制の確立）
- 財政基盤の確立・・・自主独立の財政運営をめざす取り組み
(事業受託・会費の設定・参加費設定の工夫等)
- 事業内容の拡大・・・町民の多様なニーズに対応する新規教室・サークル・イベント開催と町民への周知



さらに、全国でも先進的な取り組みを行っている「一般社団法人スポーツリンク白川（岐阜県白川町）」を訪問・視察させていただきました。「町体育協会」と「スポーツ少年団」、「総合型地域スポーツクラブ」の各団体が、それぞれの強みを生かしながら連携・協力していく具体的なプロセスや課題を知ることにより、今後の美浜町におけるスポーツ推進・クラブ運営について考える貴重な機会となりました。

2) 指導者講習会の実施

2018年8月25日、知多南部消防組合にご協力いただき、教室指導者や事務局職員の資質向上を目指した「指導者講習会（普通救命講習）」を実施しました。



3) 町内スポーツ関係団体との連携

2018年度に設置された「美浜町スポーツ推進計画策定委員会」と連携し、町内関係団体へのヒアリング調査やワークショップを通じて、美浜町における健康やスポーツに関わる取り組みの現状と課題について、整理しました。



4) 広報活動の充実

2018年11月、大学祭と町産業まつりにおいて、みはまスポーツクラブを紹介するブースを設け、カラーリングやボッチャ体験などを通じて、広報活動を実施しました。

2019年4月1日、「一般社団法人みはまスポーツクラブ」が設立され、新たな挑戦がスタートします。地域の人々と学生が、共にスポーツ・文化を通じて、幸せを感じられる町みはまを創るために、スポーツ科学センターとして支援できることを今後も探求していきたいと思います。（文責：植田真帆）

6. 水泳教室

教室内容:水慣れのための、水遊びを行いながら、顔つけのバタ足、クロールの手の回し方、呼吸の仕方を練習し、最終的には呼吸をいれたクロールに挑戦する。

講師:スポーツ科学センター 助教 坂口結子／日本福祉大学 水泳部員(補助)

実施日:3月7日(木)/8日(金)/13日(水)/15日(金)

時間:18時から19時

対象:小学5・6年生のクロールを泳ぐことが苦手な子 7名応募があり1名体調不良で欠席

参加費:保険代として120円を徴収

総評:

【募集について】

美浜地区の小学校に申し込み用紙を配布し、広報を行った。

【教室内容について】

今回はクロールがあまり得意ではない生徒を対象とした。そのため、できる限り楽しめるように工夫し、遊びやじゃんけんなどを取り入れた。クロールの練習では基礎練習を大切に、段階的に進めた。キック練習では初めに腰を掛けて、目視できる状態から行った。その後、ビート板を使用し、ストリームラインでのキックへと移行した。手の掻きの練習は、その場での練習から始め、歩きながら、ビート板を前に持って行う形で進めた。2日目終了する段階で、呼吸を入れない形でのクロールを完成させた。残りの2日間は呼吸の練習を集中的に行った。呼吸の練習では、まずプールの中で立った形で練習を行い、歩きながら、ビート板を前でもって行う形で進めていった。最後には、ビート板を外し、クロールを完成させた。

日程	実施内容
3月7日(木)	水慣れ(ボール集め)、水中での呼吸の練習、ボビング、腰かけキック、板キック
3月8日(金)	水慣れ(じゃんけんダッシュ)、ストリームライン、板キック、手の掻き方、呼吸なしクロール
3月13日(水)	水慣れ(水中じゃんけんなど)、板キック、片手クロール、呼吸なしクロール、呼吸の練習
3月15日(金)	水慣れ(水中じゃんけんなど)、板キック、片手クロール、呼吸なしクロール、クロール



写真 教室風景

【アンケート結果:生徒】

Q1. 参加しての感想を教えてください。

とても楽しかった 3 名、まあまあ楽しかった 2 名、普通 1 名

Q2. 上の感想について詳細を教えてください。

(とても楽しかった)

- 楽しく教えてくれたから
- 先生の教え方が優しくて分かり易かった
- 前より少し泳げるようになったのが嬉しい
- クロールが少しずつできたから

(まあまあ楽しかった)

- 教え方が楽しかった

(普通)

- 先生が明るい、少しきつい

Q3. 水泳に対する印象は少し変わりましたか。

とても好きになった1名、少し好きになった3名、変わらない1名

Q4. プールの感想を教えてください。

少し寒かった3名、普通2名

Q5. 感想などを自由に書いて下さい。

- 女子が欲しかった
- 前より上手になって良かった
- 25m 泳げるようになりたい
- ここまで出来とは思わなかった
- 少しクロールができるようになって良かった
- もっとやりたかった

【アンケート結果・保護者】

Q1. 水泳教室の感想についてお書き下さい。

- 子供は楽しく参加していたので、良かった。もう少し回数が多いと泳げるようになったかも
- 少人数で丁寧な指導で、とても良かった。立派なプールを利用出来て有難かった
- 苦手なことに挑戦できた
- 上達していくのが分かって良かった。今後もこのような企画があったら嬉しい
- 正しいフォームを教えて貰えてよかった
- 1回目くる時は暗い顔をしていたが、2回目からは楽しそうに来るようになった

【まとめ】

今回、小学 5.6 年生の水泳教室として行った。募集の結果、参加者は 6 名であった。人数は少なかったが、その分、細かい指導を行うことができた。1 回目、顔付けが思うようにできず、水に対して恐怖心があった生徒も、最終的には水に浮いてきちんと頭を入れられるようになった。全員、少しずつではあるが、成長できたと思われる。今後は、広報の方法を検討し、スポーツ科学センターの役割が町の方々に理解されることで、参加者を増やすことができるのではないかと考えられる。また、内容や対象についても検討していきたい。

(文責:坂口結子)

日本福祉大学スポーツ科学センター年報 第3号
平成30年度(2018)

令和 元年5月発行

スポーツ科学センター構成員	吉田文久(センター長: スポーツ科学部 教授) 植田真帆(スポーツ科学センター 助教) 坂口結子(スポーツ科学センター 助教) 中尾 綾(スポーツ科学センター 助教)
編集責任	中尾 綾

日本福祉大学スポーツ科学センター	〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6 日本福祉大学 Sport Lab SALT0 3階 TEL: 0569-87-2396 FAX: 0569-87-2291 E-Mail: sports-edu-office@ml.n-fukushi.ac.jp
------------------	--
